



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

事業企画委員会の活動紹介

はじめに

コロイド・界面化学は、洗剤・化粧品・食品・膜・塗料・インキ・触媒・電子材料・電池・デバイス・バイオなど、私たちの日常生活に欠かさない製品開発において、とても重要な役割を果たしています。コロイドおよび界面化学部会事業企画委員会は、分野を超えた議論や年齢・世代を超えた交流こそが、新たな学術の創製や継続的な発展に繋がると期待し、基礎から専門、応用まで、様々な分野において幅広い講座を企画・開催しております。毎回の企画では、トレンドに合わせたテーマを担当委員が設定し、ジェンダーバランスを意識しながら魅力的な講師の方をお招きしています。また、聴講者の分野・世代を意識し、ご満足いただけるように工夫を凝らしています。ここでは、今年度、これまでに開催しました企画と今後の予定についてご紹介します。

現代界面・コロイド化学基礎講座

現代界面・コロイド化学基礎講座（コロイドラーニング）は伝統あるセミナーの1つで、「本当にわかる講義」をコンセプトに企画しております。企業の若手社員を対象とした講座ですが、実際には企業だけでなく学生や産学の研究者など、幅広い年齢層の方が参加されております。本年度は、コロナ禍以降、久しぶりに、東京（6月1、2日）・大阪（6月15、

16日）の2会場で対面開催となりました。参加者は両会場ともに80名以上と、例年どおりの盛況な企画となりました。講義後の個別質問では、各講師の前に長蛇の列ができるなど、対面での醍醐味を感じることができました。

コロイドおよび界面化学討論会@信州大学の初日（9月12日）に、キャリア探セッションを開催しました。この企画は、学生の皆さんが将来のキャリア形成を考える機会として、毎年、討論会期間中の夕方から夜にかけて開催しています。今回は、日本ペイントの井賀充香先生と大阪工業大学の藤井秀司先生による講演会の後、グループセッションとして討論会に参加した学生部会員（54名）が、ファシリテーターとして参加した一般部会員（23名）と議論する場を設けました。対面での開催となり、参加した学生さんは、ファシリテーターからのアドバイスを参考に、将来のキャリアについて考えるとても貴重な機会になったことと思います（写真1はその様子）。



写真1 参加学生部会員とファシリテーター（一般部会員）が議論する様子

これからの部会事業

第41回コロイド・界面技術シンポジウム「データサイエンスと生体関連界面化学の融合研究（仮題）」を2024年1月25日から26日にかけて、同志社大学東京オフィス（予定）にて対面開催します。本シンポジウムは、界面コロイドが関わる研究の先端を学ぶ会としての企画です。詳細は、随時、部会ホームページ等で今後ご案内いたしますのでご確認ください。

また、2024年3月14日には、先端技術講座として、「柔らかい多孔性材料－その構造と機能をさぐる－」（仮題）を日本大学理工学部駿河台校舎タワー・スコラ（予定）で対面開催します。基調講演として、藤田誠教授（東京大学）および北川進教授（京都大学）にご講演いただく予定です。ほかにも5名の講師から、柔らかい多孔性材料の構造、機能、理論、電池・医療応用など幅広い内容についてご講演いただく予定です。講師とのリアルな「対面」での白熱した議論の場となることを期待しています。ぜひ、日程の確保をお願いいたします。

これからの部会事業の詳細については、本誌、部会ホームページや本会のメーリング等を通じて順次お知らせいたします。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

〔事業企画委員長 蟹江澄志（東北大学）〕

© 2023 The Chemical Society of Japan